



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月5日

上場会社名 クリエイト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3024 URL <https://www.cr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉成 隆則
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 昭彦 (TEL) 06-6538-2333
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,824	4.8	133	77.0	124	87.5	68	139.4
2025年3月期第1四半期	8,422	△0.3	75	—	66	—	28	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 50百万円(△3.4%) 2025年3月期第1四半期 52百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	17.64	—
2025年3月期第1四半期	7.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	18,345	5,282	28.8
2025年3月期	17,365	5,325	30.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,282百万円 2025年3月期 5,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.00	—	24.00	38.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	14.00	—	26.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,600	2.9	850	12.0	810	8.7	510	4.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	3,969,000株	2025年3月期	3,969,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	86,880株	2025年3月期	86,880株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	3,882,120株	2025年3月期1Q	3,900,920株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、賃金・雇用環境の改善が見られる一方で、物価高の影響による消費支出の低迷もあり、全体的な成長率は小幅となる見通しです。もともと、労働力不足への対策や堅調な企業業績を背景に、企業の設備投資需要は依然として底堅く、景気を下支えする要因となると考えられます。

今後の経済は、緩やかな持ち直し基調を維持すると見込まれますが、米国関税引き上げによる外需の押し下げや地政学リスクには引き続き注視が必要となります。

建設業界は、コスト上昇や人手不足により、工事出来高としては弱含みで推移しています。住宅着工戸数は4月に建築基準法が改正されたことによる、年度末の駆け込み着工から反動減があったものの、一方で都市再開発やインフラ整備等の公共工事の需要は根強く、今後は、技術革新による生産性向上や、働き方改革による労働環境の改善等が、業界の活性化に寄与することが期待されます。

このような経営環境の変化を踏まえ、当社グループでは次の成長ステージに向けた基盤づくりの3年と位置づける中期経営計画「Vision110」（ビジョン・イチイチマル）において、4つの基本戦略を重点課題として取り組み、その実現を目指してまいります。

「Vision110」

1) 財務・資本戦略

中計期間中のキャッシュ・フローを「戦略投資」「次世代に向けた成長投資」「株主還元」と明確化し、キャッシュ・アロケーションの最適化を図ります。

2) 顧客の視点

グループ各社の重点戦略とシナジー効果を図り、次の成長ステージに向け、市場拡大とニーズが高まる分野への販売基盤を確立します。

3) 業務プロセスの視点

物流を強みとする差別化戦略で業界「No. 1 物流」を目指します。

4) 組織・人財・教育の視点

人財を資本として捉え、その価値を最大限に引き出すため、人財育成・能力開発と環境整備を促進し、コーポレートガバナンスの強化により企業価値の向上に努めます。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は8,824百万円（前年同期比4.8%増）となり、売上総利益は1,563百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

営業利益は133百万円（前年同期比77.0%増）、経常利益は124百万円（前年同期比87.5%増）、法人税等考慮後の親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同期比139.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

[管工機材]

当セグメントの売上高は8,738百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益(営業利益)は98百万円（前年同期比83.2%増）となりました。

[施工関連]

当セグメントの売上高は6百万円（前年同期比31.4%減）となりました。この要因は、施工関連の関係会社の受注請負基準の見直しに伴う受注額の減少によるものです。結果、セグメント損失(営業損失)は7百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

[物流関連]

当セグメントの売上高は78百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益(営業利益)は42百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

管工機材の商品区分別状況は以下のとおりです。

(排水・汚水関連商品)

当商品群は、住宅・工場・ビル・病院・学校等の排水・雨水配管・通気配管に使用される商品等で構成されています。

主力製品である排水集合管は、首都圏の再開発事業やマンション向けを中心に販売が伸長しました。しかしながら、MD継手の販売が減少したことにより、商品群全体としては前年同期比で微増にとどまりました。

結果、当商品群の売上高は1,776百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

(給湯・給水関連商品)

当商品群は、住宅・工場・ビル・病院・学校等の給湯・給水・ガス・空調冷媒配管に使用される商品等で構成されています。

公共工事や工場案件向けのステンレス材は受注が好調に推移しました。しかし、鋼管類・銅管類については、前年同期に発生した価格改定前の駆け込み需要や大型案件による特需の反動が大きく、販売が大幅に減少しました。

結果、当商品群の売上高は2,033百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

(化成商品)

当商品群は、住宅・工場・ビル・病院・学校・土木案件等の排水・雨水配管・上下水配管に使用される塩化ビニル樹脂のパイプ・継手、マス類及びポリエチレン（PE）管・継手等で構成されています。

新設住宅着工戸数の減少という厳しい事業環境下ではありましたが、製品分野ごとに販売拡大に努めました。塩ビマス製品は、市場ニーズに応じた拡販が奏功し販売が伸長したほか、その他の塩ビ製パイプ・継手も、当社の物流機能への評価を背景に、販売は前年同期を上回りました。

結果、当商品群の売上高は2,698百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

(その他)

当商品群は、上記以外の管材類・プレハブ加工管・副資材や住宅設備機器類等で構成されています。

住宅設備機器類が全域で好調に推移したほか、公共工事やマンション建設向けにダクト・フレキの採用が伸長しました。加えて、雨水対策製品の販売も堅調であったことなど、各製品分野で販売を伸ばした結果、全体の販売は前年同期を大幅に上回りました。

結果、当商品群の売上高は2,230百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて979百万円増加し、18,345百万円となりました。流動資産は960百万円増加し、流動資産合計で13,954百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が286百万円増加、電子記録債権が1,110百万円増加、商品及び製品が267百万円増加したこと等によるものです。固定資産は19百万円増加し、固定資産合計で4,390百万円となりました。この主な要因は、繰延税金資産が34百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,022百万円増加し、13,062百万円となりました。流動負債は1,100百万円増加し、11,242百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が1,200百万円増加したこと等によるものです。固定負債は78百万円減少し、1,819百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が83百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し、5,282百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が24百万円減少したこと等によるもので

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月14日付「2025年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,416,922	1,703,701
受取手形及び売掛金	5,651,822	4,904,484
電子記録債権	3,071,700	4,182,349
商品及び製品	2,207,395	2,474,765
仕掛品	250,376	282,729
原材料及び貯蔵品	225,885	237,015
その他	211,978	209,505
貸倒引当金	△42,117	△40,107
流動資産合計	12,993,963	13,954,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	416,144	422,213
機械装置及び運搬具（純額）	17,543	16,289
土地	1,698,916	1,698,916
リース資産（純額）	201,138	190,365
その他（純額）	35,521	36,466
有形固定資産合計	2,369,263	2,364,250
無形固定資産		
のれん	75,925	73,476
リース資産	8,123	7,237
その他	44,307	41,674
無形固定資産合計	128,356	122,388
投資その他の資産		
投資有価証券	150,115	147,073
繰延税金資産	508,432	542,827
破産更生債権等	89,649	88,987
その他	1,256,634	1,255,950
貸倒引当金	△130,887	△130,887
投資その他の資産合計	1,873,943	1,903,951
固定資産合計	4,371,563	4,390,590
資産合計	17,365,527	18,345,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,110,217	3,244,654
電子記録債務	5,406,269	5,288,167
短期借入金	-	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	428,461	383,595
リース債務	49,153	47,886
未払法人税等	200,163	93,517
賞与引当金	252,368	393,877
役員賞与引当金	32,173	3,900
その他	663,140	586,896
流動負債合計	10,141,947	11,242,494
固定負債		
長期借入金	464,968	381,468
リース債務	176,568	165,051
役員退職慰労引当金	30,184	30,964
株式報酬引当金	9,336	7,829
退職給付に係る負債	799,876	814,407
資産除去債務	44,427	44,549
役員退職慰労未払金	179,800	179,800
その他	193,003	195,752
固定負債合計	1,898,164	1,819,821
負債合計	12,040,111	13,062,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	646,494	646,494
資本剰余金	811,208	811,208
利益剰余金	3,793,828	3,769,129
自己株式	△77,369	△77,369
株主資本合計	5,174,160	5,149,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,571	56,115
繰延ヘッジ損益	19,271	6,945
退職給付に係る調整累計額	73,411	70,195
その他の包括利益累計額合計	151,254	133,256
純資産合計	5,325,415	5,282,719
負債純資産合計	17,365,527	18,345,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,422,395	8,824,145
売上原価	6,936,748	7,260,183
売上総利益	1,485,647	1,563,962
販売費及び一般管理費	1,410,278	1,430,585
営業利益	75,368	133,377
営業外収益		
受取利息	-	0
受取配当金	190	196
不動産賃貸料	7,865	7,530
助成金収入	-	300
その他	5,140	2,650
営業外収益合計	13,196	10,678
営業外費用		
支払利息	3,515	3,788
手形売却損	3,086	6,367
不動産賃貸原価	3,959	3,178
その他	11,646	6,318
営業外費用合計	22,207	19,653
経常利益	66,357	124,401
税金等調整前四半期純利益	66,357	124,401
法人税等	37,757	55,929
四半期純利益	28,600	68,472
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,600	68,472

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	28,600	68,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,036	△2,455
繰延ヘッジ損益	23,803	△12,326
退職給付に係る調整額	1,871	△3,215
その他の包括利益合計	23,638	△17,997
四半期包括利益	52,238	50,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,238	50,474
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	管工機材	施工関連	物流関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,329,900	10,132	82,362	8,422,395	—	8,422,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,481	—	80,790	82,271	△82,271	—
計	8,331,381	10,132	163,152	8,504,666	△82,271	8,422,395
セグメント利益又は損失(△)	53,628	△9,500	30,691	74,820	548	75,368

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額548千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	管工機材	施工関連	物流関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,738,976	6,949	78,219	8,824,145	—	8,824,145
セグメント間の内部売上高 又は振替高	573	—	116,297	116,871	△116,871	—
計	8,739,550	6,949	194,517	8,941,016	△116,871	8,824,145
セグメント利益又は損失(△)	98,271	△7,857	42,413	132,827	549	133,377

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額549千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前中間連結会計期間より、「その他」に含まれていた「物流関連」について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	20,713千円	28,508千円
のれん償却額	2,449千円	2,449千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。